

埼玉県 政策研究発表会 見聞レポート

○主旨

埼玉県の少子 高齢化対策と知名度アップのための取り組み研究発表

○主催

彩の国埼玉広域連合

○日時 2019年2月12日(火)

○研究成果

少子 高齢化対策

川越市 空き家対策 空き店舗シャッター芸術祭 高齢者まちあるき

川口市 空き家発生未然対策

横瀬市 市民提案型新規事業

○公共空間利用プロジェクト成果発表 「埼玉型コミュニティー」

本庄市 ポケットパーク

春日部市 藤棚(テラス)通り活性化

朝霞市 公園マルシェ

美里 森の中の図書館利用

○埼玉の地域資源発見利活用のよる愛県心情勢プロジェクト

問題意識 愛着度 46位 自慢度 47位

自分の県を自分でツーリズムすることによるランクアップ

スポット比較アプローチ 行田 熊谷 春日部 深谷 など ちょこ旅

全県的アプローチ 特産品 情報発信

テーマ型アプローチ 新たな観光要素の発掘 「異日常」

考察

- 1、様々な取り組みがなされている。
- 2、特に藤テラスなどは印象深い
- 3、効果、評価の測定方法の検討 自画自賛になっている
- 4、継続性が課題
- 5、実現性が課題

平成30年度

政策研究成果発表会

～共に考え、創る。埼玉の未来。～

日時：平成31年2月12日（火） 10時00分～16時30分

会場：埼玉県県民健康センター 大ホール（さいたま市浦和区仲町3-5-1）

プログラム

10:00 開会／開場9:30～

10:10 県内外市町村政策研究成果発表

12:00 各団体から政策研究成果を発表していただきます。

■ 県内市町村

- ・川越市「持続可能な都市、川越づくり」
- ・川口市「空き家の発生を未然に防ぐための政策研究」
- ・横瀬町「横瀬町官民連携プラットフォーム(通称:よこらぼ)の取組紹介」

■ 県外市町村

- ・宇都宮市「転入者の市内定着と新規転入者の誘導を図るための施策」

12:00 休憩

13:00 「産民学官・政策課題共同研究」の活動状況

13:10 平成30年度「産民学官・政策課題共同研究」の活動状況を、
彩の国さいたま人づくり広域連合事務局から報告します。

13:10 「埼玉型の公共空間利活用プロジェクト」の研究成果発表

- 14:40
- (1) 発表 : 60分間
 - (2) 講評・解説 : 15分間 (研究会コーディネーター 内田 奈芳美 氏)
 - (3) 質疑応答 : 15分間

14:45 休憩

14:55 「埼玉の地域資源の再発見・利活用による愛県心醸成プロジェクト」
の研究成果発表

- 16:25
- (1) 発表 : 60分間
 - (2) 講評・解説 : 15分間 (研究会コーディネーター 佐野 浩祥 氏)
 - (3) 質疑応答 : 15分間

16:30 閉会

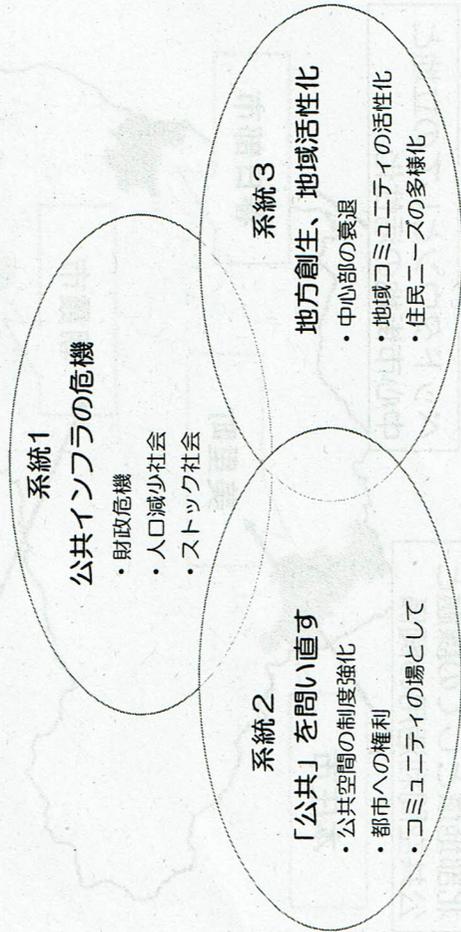
埼玉型の公共空間 利活用プロジェクト

～「暮らし」の中の公共空間利活用について～

平成31年2月12日（火）

背景

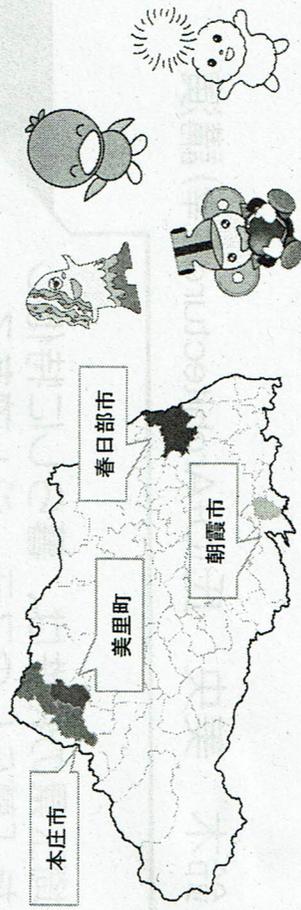
・公共空間の利活用がなぜ検討されるのか？



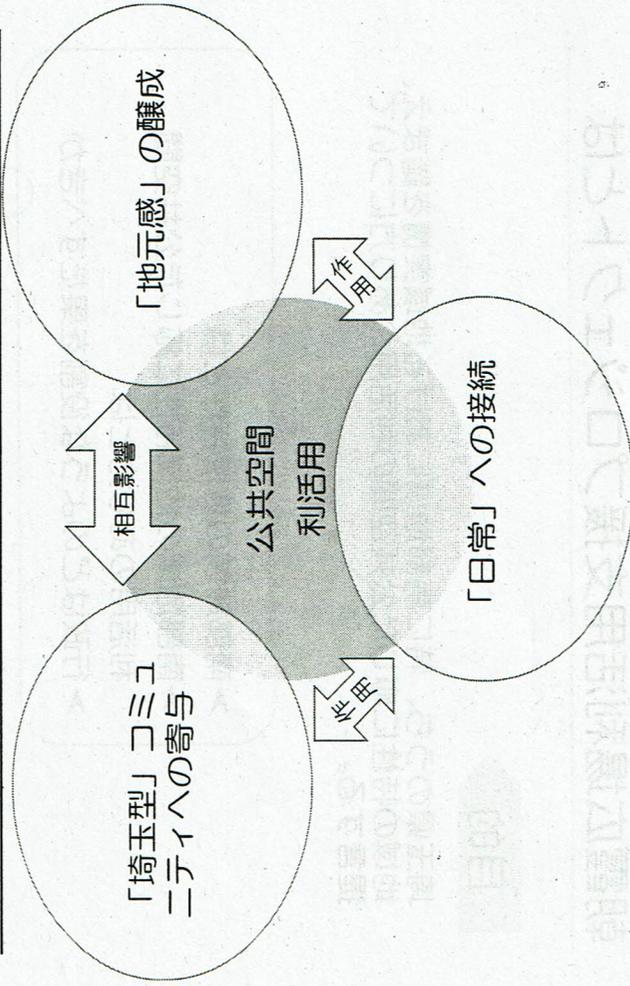
「埼玉型」の 公共空間利活用とは なにか？

各対象地域の研究発表

- 1 朝霞：広場利活用支援プロジェクト
- 2 春日部：ふじ通りにぎわい創出利活用プロジェクト
- 3 本庄：まちなか空閑活用プロジェクト
- 4 美里：「図書館×公共空間」利活用プロジェクト



「埼玉型」＝「暮らし」の公共空間利活用



分析のフレームワーク

視点① 「埼玉型」コミュニティへの寄与

「埼玉型」コミュニティの特徴

1960年代以降の人口急増期に流入した「新住民」の量的存在感の大きさ

「新住民」及び埼玉を故郷としてとらえる若い世代が新たな担い手となり、利活用を行うことで、コミュニティ構築への寄与となるのではないか。

10

分析のフレームワーク

視点③ 日常との接続

「暮らし」とは

継続して行われるものであり、日々の日常のことである。

暮らしの中の利活用では、日常の中で行われる持続性と、浸透性が重要ではないか。

12

分析のフレームワーク

視点② 「地元感」の醸成

埼玉県の特徴としては

「新住民」の流入、東京のベッドタウンとしての性格が強く、地元感が育ちにくい。

公共空間の利活用が進むことで、自らの街への関心を高め、地元感の醸成へつながるのではないか。

11

(2) 春日部市の概要



まつりでの利用、開花時期には観光客
それ以外の活用実績は。。。。

41

(3) プロジェクト：藤テラス



43

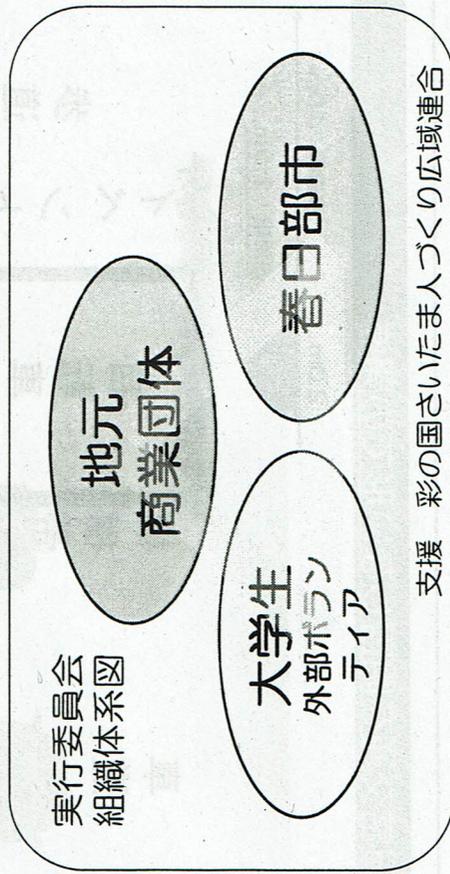
(3) プロジェクト：藤テラス

日時	実証団体	内容
2017	広域連合	ふじ通り活用実験 おしゃピクの実施
2018. 4月	藤テラス実行委員会	藤テラス
2018	広域連合	反省を生かし実証実験 春日部ふじ通りにぎわい 創出プロジェクト
2019. 4月	藤テラス実行委員会	実験結果の活用 藤テラス

42

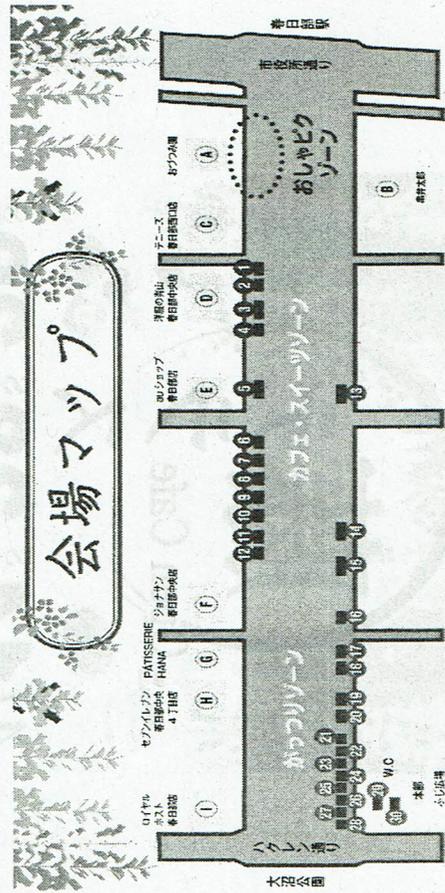
(3) プロジェクト：藤テラス

主催：藤テラス実行委員会



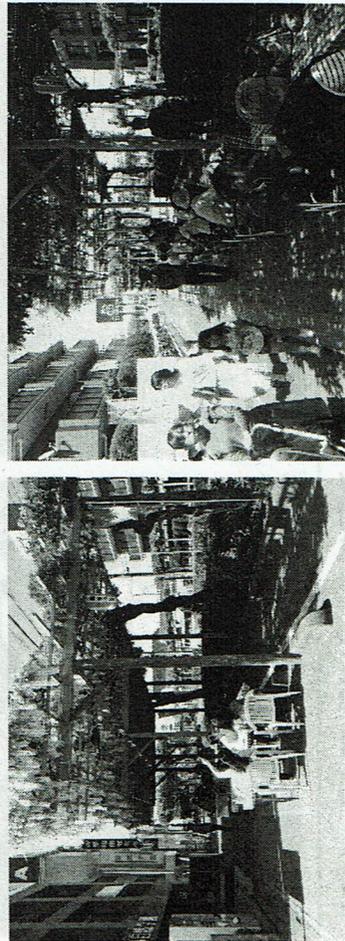
44

(3) プロジェクト：藤テラス



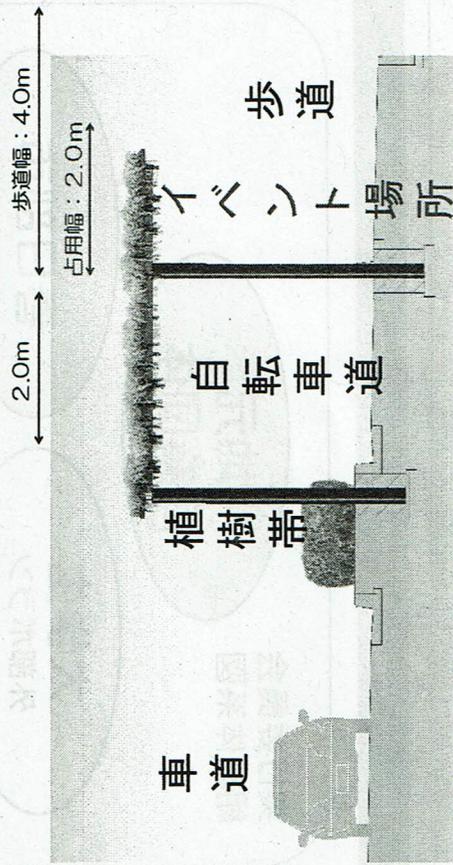
(3) プロジェクト：藤テラス

平成30年4月14日、28日、29日
来場者 3日間 10,387人



(3) プロジェクト：藤テラス

日常交通を阻害しない形での開催



(3) プロジェクト：藤テラス

アンケート調査の結果

「あなたはこのイベントをどう思いますか。」
⇒ まだ行って欲しい 98%

「道路が使いづらくなったと感じましたか？」
⇒ 特に問題ない 83%

「来年も参加したいですか？」
⇒ 来年も参加したい 87%

アンケート結果より、概ね好評である。

『埼玉北部型の公共空間利用のあり方』 を社会実験で検証

【北部の課題】人口減少・空き家・空き地でまちなか衰退

民有地



実践

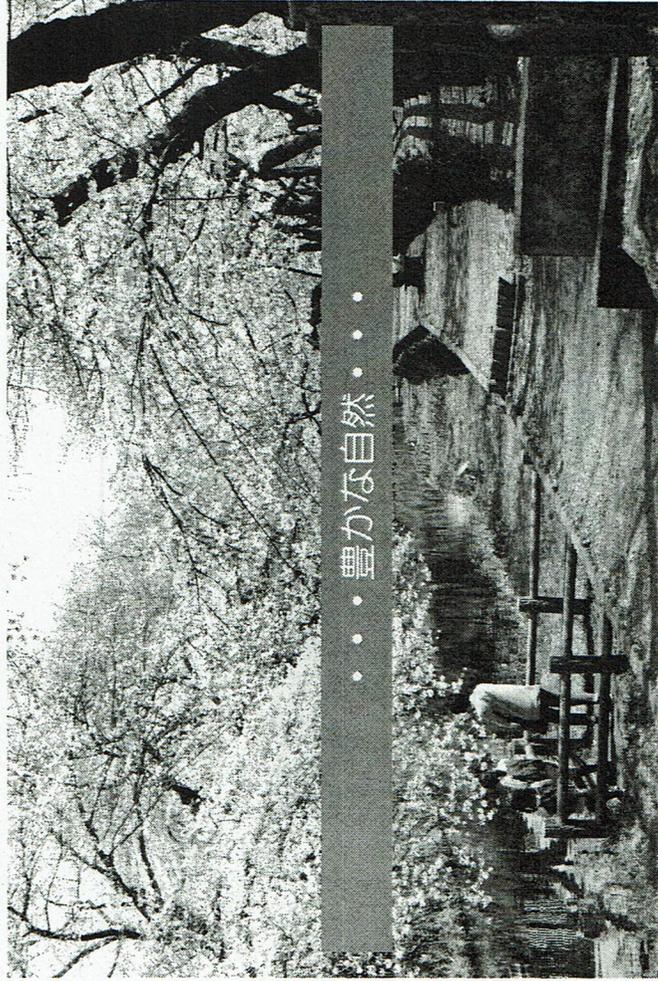
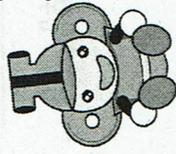
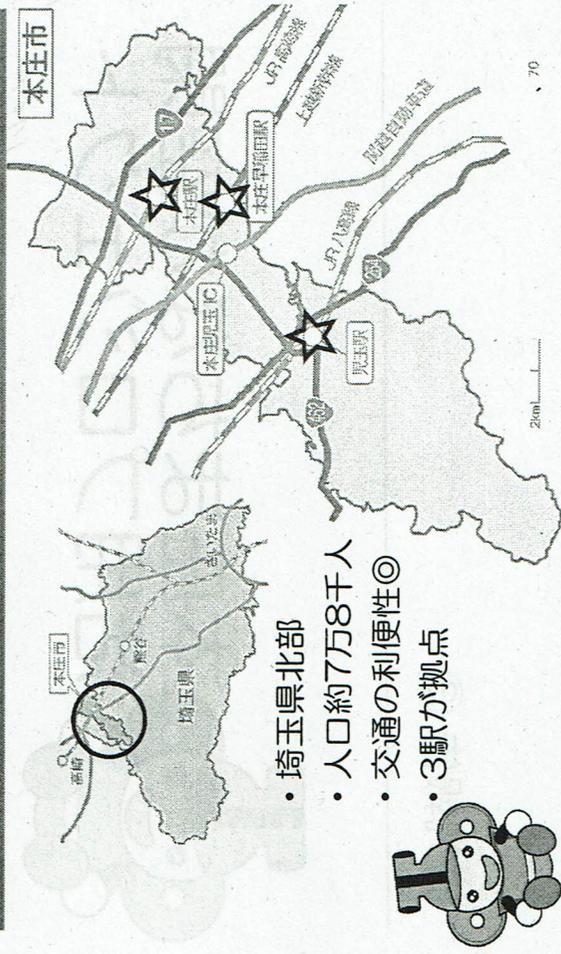
小さな空き地を活用
→賑わいを創出



中心市街地活性化のきっかけづくりを目指す

(1) 対象地域の概要

・・・本庄市・・・



・・・豊かな自然・・・



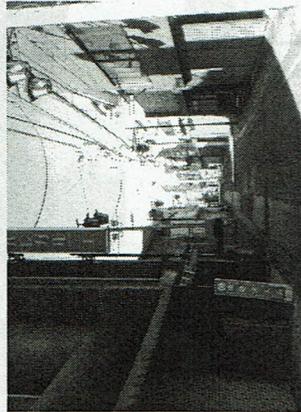
(1) 対象地域の概要

・・・本庄市の歴史と現状・・・

中山道最大の宿場町
歴史・文化

戦争で燃えなかつた
古い建物
細い路地

少子高齢化・人口減少
(空き家・空き地の増加)

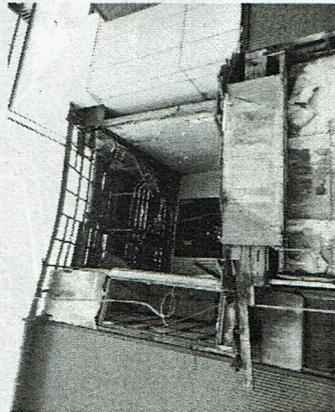


まちなか衰退

(1) 対象地域の概要

・・・中心市街地活性化に向けて・・・

住環境向上！
もっと利用して
活性化のきっかけに...



整備前



整備後

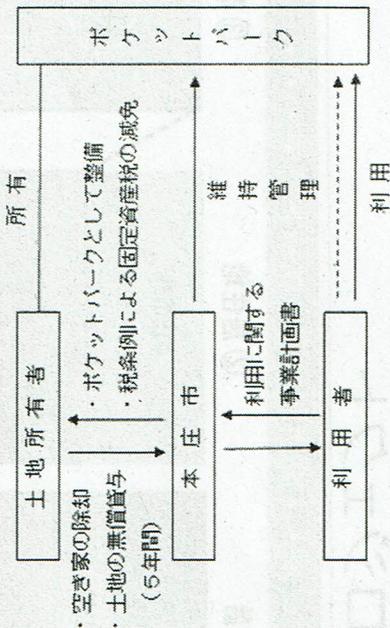
(1) 対象地域の概要

・・・中心市街地活性化に向けて・・・

◆ポケットパーク整備事業

→市が空き地を借り受けて簡単な広場を整備
目的：コミュニティ活動促進・住環境の向上

・5年の期限・
・民有地



(2) プロジェクト

・・・研究内容・・・

STEP 1

基礎調査
まちづくり団体等意見交換
(担い手の発掘)
プレアンケート
(利用者ニーズの調査)



STEP 2

アンケート
来場者数調査
広場内行動調査

1. 総論

- (1) 本研究の背景と目的
- (2) 埼玉県の課題とツーリズム
- (3) 研究の対象と方法

埼玉の地域資源の 再発見・利活用による 愛県心醸成プロジェクト

— 埼玉版ツーリズムの構築 —

平成31年2月12日(火) 成果発表会

2. 各チームの研究報告

- チーム：①テーマ型 ②スポット比較 ③全県的
- (1) 問題意識
 - (2) 目的・仮説
 - (3) 調査方法
 - (4) 調査結果
 - (5) 政策提案
 - (6) 今後の課題

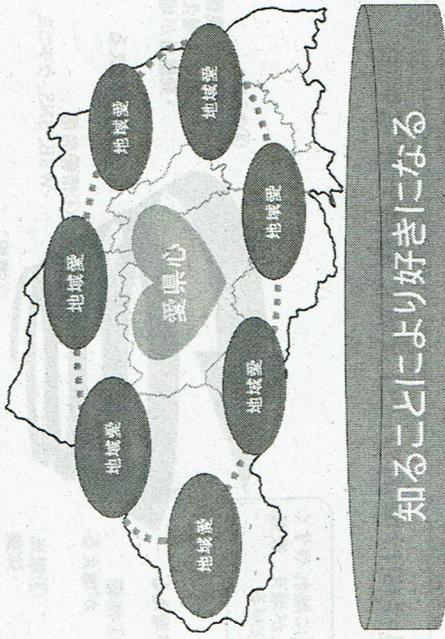
3. まとめと提言

- (1) ツーリズムの有効性
- (2) 人財の重要性
- (3) 行政の役割

(3) 研究の対象と方法

2)3つのアプローチ

①スポット比較アプローチ

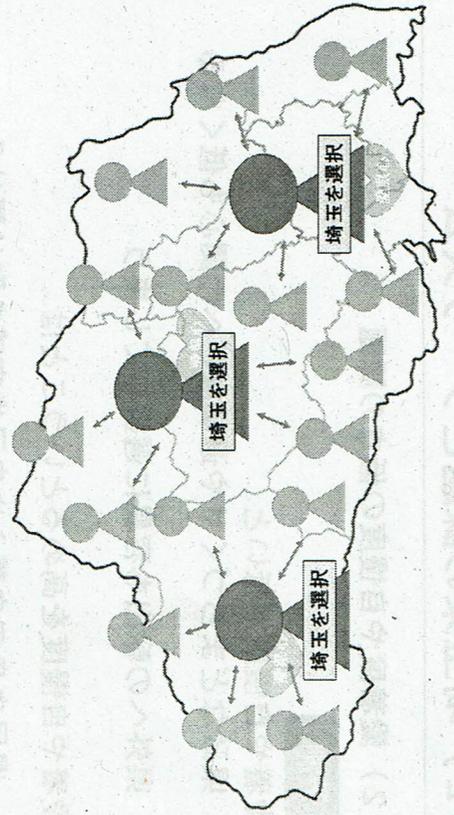


13

(3) 研究の対象と方法

2)3つのアプローチ

③テーマ型アプローチ

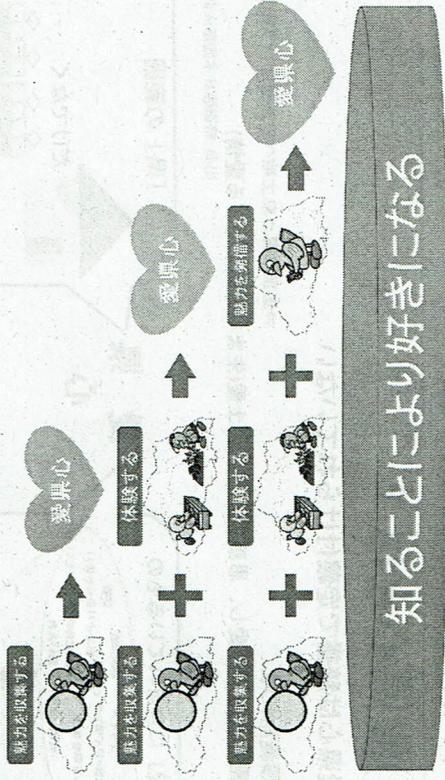


15

(3) 研究の対象と方法

2)3つのアプローチ

②全県的アプローチ



14

研究報告①

スポット比較アプローチ

16